

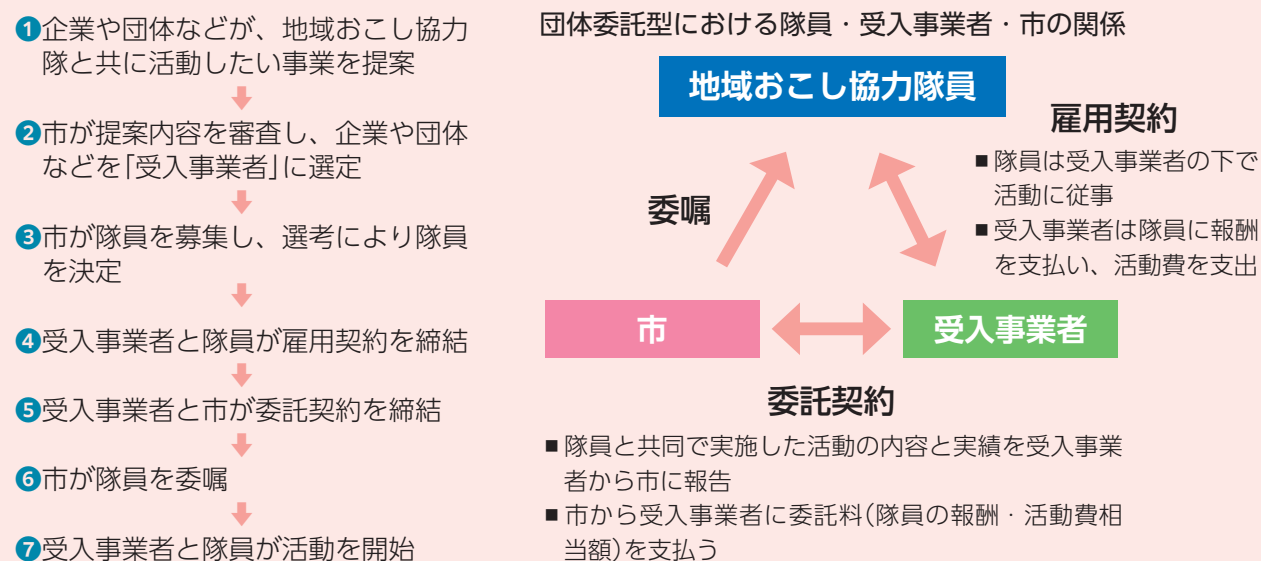


地域おこし協力隊～受入事業者を追加募集します～

市は、本年度、新たに地域おこし協力隊の「団体委託型」を導入し、15の企業や団体などを受入事業者として選定し、隊員の募集・委嘱を進めています。

このたび、受入事業者を追加で募集しますので、隊員と共に地域課題の解決につながる活動を実施したいと考える企業や団体は、ぜひ応募ください。

団体委託型の仕組み



▶提案いただく活動例

商工観光業、農林水産業の振興に関する活動、移住・定住の促進に関する活動、住民の生活支援に関する活動、地域の活性化に関する活動

▶応募の手続き

応募要件や提出書類などの詳細は市ホームページを確認ください。

▶募集期限＝11月14日(木)

▶その他

団体委託型の仕組みについて個別説明を行いますので、希望する場合は問い合わせください。

▶問い合わせ先

企画調整課企画係(☎内線230)



家族や仲間と街を歩こう！高田フォトロゲイニングU-HS

フォトロゲイニングとは、地図をもとにチェックポイントを回って得点を集める、ゲーム感覚のスポーツです。家族や仲間と楽しみながら市街地を散策してみませんか？

▶日時＝11月16日(土)午前9時～午後1時

▶場所＝陸前高田市内

※スタート・フィニッシュ…道の駅高田松原

▶対象＝次のすべてを満たすチーム

- ・高校生以下のメンバーを1人以上含むこと
- ・小学生以下を含む場合は、18歳以上の保護者をチームの代表者として
- ・登録申請が受理されたチーム

※チームメンバーの血縁関係は問いません。

▶内容＝チーム対抗の市街地散策イベントで、日本フォトロゲイニング協会の登録大会です。

▶定員＝40チーム(先着順)

▶申込方法＝メールで、①チーム名、②チーム人数、③メンバーの氏名・年齢・性別、④代表者の住所・電話番号を連絡ください。

▶申込締切日＝11月8日(金)

▶その他＝大会の詳細は問い合わせください。

▶申込先・問い合わせ先＝気仙・三陸ジオパーク推進会議(大船渡土木センター内☎22・9821)
【Eメール】takashi-t@pref.iwate.jp(担当:高橋)



11月17日(日)午前7時30分から 防災訓練を行います

■防災訓練に参加しましょう

市では、東日本大震災や、県が公表した最大クラスの津波浸水想定を踏まえ、災害から命を守る住民自身の行動や行政などの防災体制の構築のため、防災訓練を実施します。

訓練に参加し、いざというときに落ち着いて迅速に行動できるように、避難場所や避難経路を確認しましょう。

▼日時＝11月17日(日)午前7時30分～9時

▼問い合わせ先

防災管理室(☎内線251)

■訓練の想定内容

11月13日(水)にマグニチュード7.3、震度5弱の地震が発生し「北海道・三陸沖後発地震注意情報」が発表された。

11月17日(日)午前7時30分ごろ、三陸沖を震源とする震度6弱の地震が発生し、岩手県沿岸に大津波警報が発表され、市は避難指示を発令した。

気象庁発表では、予想される津波の最大波は15m、大船渡港への津波到達予想時刻は午前8時であった。

この地震により、市内各地において家屋の損壊、停電、断水、孤立地域の発生などが確認されたほか、地震による建物火災も発生し、延焼拡大の恐れがある。

■避難場所を確認しましょう

市では、令和5年4月に、最大クラスの津波浸水想定を反映させた津波ハザードマップを各世帯に配布しました。



■自主防災組織などでも訓練を実施しましょう

▼訓練内容の例

- ・防災資機材の点検、使用方法の確認
- ・自主防災組織内での役割の確認
- ・避難所運営マニュアルを活用した訓練
- ・初期消火訓練(消火器)
- ・地域内の危険な箇所などの確認

北海道・三陸沖後発地震注意情報とは

日本海溝・千島海溝沿いでマグニチュード7以上の地震が発生した場合、1週間程度、より大きな後発地震への注意を呼びかけるものです。同様の呼びかけでは、今年8月に日向灘を震源とするマグニチュード7.1の地震が発生し、「南海トラフ地震臨時情報」が発表されました。

後発地震は必ず発生するものではありませんが、東日本大震災がその例の一つです。事前避難や経済活動の制限は求めませんが、防災行政無線などで注意喚起を行いますので、避難場所や非常用持ち出し物品の確認など、いざという時のために備えましょう。

非常持ち出し物品を確認しましょう



避難所の備蓄品は数や種類に限度があるので、日ごろから非常持ち出し物品を確認しておきましょう。

□飲料水

□常備薬

□衣類

□懐中電灯

□体温計

□食料

□消毒薬

□マスク

□毛布

□ラジオ

正しい情報を入手しましょう



市は、気象警報や避難情報などの防災情報を防災行政無線、緊急速報メール、SNS、FMラジオなどで市民の皆さんにお知らせしています。

正しい情報を入手して「早めの避難」「落ち着いた行動」を心掛けましょう。

